

## 部会における新規意見及び各界各層との意見交換における新規意見一覧

部会名	ジャンル		市民会議	各界各層意見
	区分	項目		
全体	1 方向性	A 江別の独自性	(5) 何に力を入れて取り組むかというまちづくりの重点化の方向性をはっきりと打ち出すべき	
			(6) 総合計画で定める将来の姿を必ず実現するという未来宣言をすべき	
		B 選択と集中	(3) 市民レベルからの選択と集中により方向性を提案すべき	
高齢化・市民活動部会	2 高齢者福祉	B ユニバーサルデザイン	(2) 個人住宅のバリアフリー化	
		D 生きがい	(4) 高齢者のコミュニティビジネスの取り組みによる生きがいづくり	
		F 大学連携		① 高齢者の健康管理のために大学生が血圧測定をする場を設置
		H 予防(医療費軽減)	(1) 広報活動や健康診断への助成を拡大	① 自然・食の安全が健康につながることを強調した特色づくりが必要
			(2) 早期発見、早期治療のために検診の充実	② ポイ捨て防止と健康増進のために、タバコを吸わない日をつくる
	4 医療	A 市立病院	(4) 地域医療の担い手として市立病院は必要で、その存在が人口の定着やイメージアップに貢献	⑤ 市立病院の夜間救急の対応の充実が必要
				⑥ 安心して子育てするために、産婦人科・小児科体制の一層の充実が必要
		C 地域医療		① 急性疾患(脳梗塞、脳出血、心筋梗塞等)などの救急医療体制の強化・充実
				② 国保のデータ分析などによる効果的な医療と介護体制の構築
		D 情報発信		① 市民と医師会が医療制度の現状と課題を共有することが必要

## 部会における新規意見及び各界各層との意見交換における新規意見一覧

部会名	ジャンル		市民会議	各界各層意見
	区分	項目		
高齢化・市民活動部会	5 市民活動	A 市民協働	(4) 市民は自分たちのまちとしての関心を持って、市民自治意識を高めていくことが必要	
		B コミュニティ	(4) 活動が活発な自治会の役員を表彰するなど自治会活動にインセンティブを与えて活性化 (5) コミュニティ活性化に貢献する人づくりと、それを持続する仕組みづくりが必要	
		C 人材活用		⑦ 将来を担う高校生や大学生が連携して行政へ意見を発信していくことが必要
		D 大学連携		⑤ 継続性のある活動とするため、4大学の学生で構成する学生団体を立ち上げて地域のイベントに参加
				⑥ 4大学共同で年に1回市民も参加できる文化祭を実施
				⑦ 4大学が連携し、学生が主体となって江別市開催イベントの企画・運営を行う
				⑧ 大学と協力してより多くの海外の人を受け入れて江別を国際化する
				⑨ 4大学それぞれの得意分野を活かした技術開発と、それを対外的にプロデュース・PRする仕組みづくり
				⑩ 学生のときに立ち上げたまちづくり活動を卒業後も続けられる仕組みが必要

## 部会における新規意見及び各界各層との意見交換における新規意見一覧

部会名	ジャンル		市民会議	各界各層意見	
	区分	項目			
暮らし・定住部会	6 定住	A 住み替え	(4) 大麻の空き家対策として、安い家賃で大学生に住んでもらい、大学生と高齢者の交流による高齢者対策も実施		
		D 定住支援		① 少子化対策として市内小中学校の給食費の無料化を実施	
	7 子育て	A 方向性			③ 新総合計画において幼児教育を視野に入れた施策づくりが必要
					④ 市役所の保育園担当部門と幼稚園担当部門を統合し、乳幼児期の子どものことを総合的に考える部署とすべき
		B 保育			⑪ 認定こども園で保育園と幼稚園それぞれの制度がバラバラなので統一すべき
					⑫ 学童保育の無料化
					⑬ 子育て支援センターをもっと利用しやすいように土日の開館日を増やしたり、平日の開館時間を延長する
					⑭ 保育園で英語教育を実施
					⑮ 保育料の値下げ
					⑯ 保育園児童の高齢者施設の訪問による世代間交流
					⑰ 保育園と地域の交流や、学生ボランティアとの交流
					⑱ 出産祝い金(一時金)の創設
	C 教育	(4) 子どもたちに対する江別の歴史教育の充実	② 農地や自然を活かして保育園での体験型の教育やイベントを充実させる		
	D 特区	(3) 小学校の英語教育や、高校生が大学の授業に参加できるような教育特区の打ち出しの検討			
	E 医療	(5) 江別で子どもを産んで、育てたいと思える医療体制づくりが必要	③ 公費による予防接種の充実(水痘、おたふくかぜ、B型肝炎、ロタウイルスなど)		
			④ 予防接種(子宮頸がん、ヒブ、肺炎球菌など)の補助の継続		
			⑤ 市立病院の出産費用が安く安全であるということをもっとPR		
	8 学校教育	F 国際交流		① 国際化へ対応するため、海外留学生を積極的に受け入れ、市内小中学生との交流の場をつくる	
9 情報発信	A 市外への発信	(9) 気象庁の気温観測点の発表では寒いまちというイメージになるので江別独自に気温を発表			
	C メディア活用	(4) バスの外装を活用した情報発信			

## 部会における新規意見及び各界各層との意見交換における新規意見一覧

部会名	ジャンル		市民会議	各界各層意見	
	区分	項目			
環境・文化部会	10 環境	A 方向性	(3) 先進的に取り組んでいるごみの資源化、リサイクルで環境先進都市のイメージづくりをしてPRする		
		B 住環境	(4) 大人が江別に帰ってきたときにほっとできる場所・ゆとりの環境が必要	⑤ 角山の不法投棄の防止	⑥ ポイ捨て防止と健康増進のために、タバコを吸わない日をつくる
	11 エネルギー	B リサイクルエネルギー	(2) バイオマスプラント整備への補助		
	13 文化	B 文化施設	(3) 埋蔵文化財センター、郷土資料館、旧町村農場などの文化施設を誰もが見られるようなバスのルートの設定やPRなどの環境づくり		
		D 文化イベント	(2) PMFのワークショップなど一般市民に対してインパクトのある行事を市民が自前で実施		
			(3) 子どもたちが本格的なクラシックに触れる機会を市として提供		
		F 支援	(1) 吹奏楽のレベルアップのため、新しい楽器の購入を行政がバックアップ		
	14 スポーツ	C スポーツイベント	(3) プロスポーツの試合や強化合宿を見られる機会を増やしてスポーツを始めるきっかけづくり		
		D 支援		① 子どものスポーツの経済的支援(全国大会の旅費など)	
	15 行政サービス	A 市民意見の反映	(4) 総合計画を進行管理するために市民会議を継続して設置		
			(5) 小中高生といった子どもたちの意見を行政が聞きとれる仕組みが必要		
		B 市民サービス	(3) 市民意見を市の取り組みに反映していくため、市民への情報提供の工夫が必要		
	16 行政効率化	A 施設の活用	(3) 市民体育館を子どもたちが自由に走り回って遊べるように開放		
			(4) 学校の空き教室や体育館を学校で利用していない時間帯に就学前児童に開放		
			(5) 情報図書館の開館時間の統一による利便性向上		
			(6) 情報図書館の月曜開館		

## 部会における新規意見及び各界各層との意見交換における新規意見一覧

部会名	ジャンル		市民会議	各界各層意見	
	区分	項目			
安全・安心部会	18 防災	A 防災体制	(7) 市外から来ている人を対象とした避難誘導の掲示の整備		
			(8) 市の危機対策・防災担当の組織強化		
			(9) 市民の防災意識や行政への参画意識を向上させる取組みが必要		
			(10) 小中学校の耐震化、または建て替えの検討		
		B 情報通信	(4) IDカードによるお薬手帳や毎年の健康データの管理		
			(5) 長沼町で整備した光ファイバーを利用したサービスを江別でも計画		
		C ハザードマップ	(5) 事故が多発する場所を追記		
			(6) 小学生が危ないと感じた地域などの書き込み		
		D 避難所	(8) 使える避難所になっているかどうかを住民が点検する制度が必要		
		E 災害時要援護者	(4) 支援を必要としている人へ支援制度の情報提供が必要		
	(5) 要援護者の情報を把握したうえで、どこにどのように避難させるかまで考えておくべき				
	19 除排雪	A -	(6) 中高生の体育部員による除雪ボランティア		
	20 防犯・交通安全	A -	(4) 大学生の多い大麻地区をモデル地区として自転車対策を先駆けて実施	①	自転車のマナー向上のための条例の制定
			(5) 自転車が走ってよい歩道なのかどうか分かる看板の整備		
(6) 歩行者と自転車の通行を分離した道路の整備					
34 その他	A -	(1) 北海道と市が関連する事業を実施する際の連携の強化			

## 部会における新規意見及び各界各層との意見交換における新規意見一覧

部会名	ジャンル		市民会議	各界各層意見
	区分	項目		
まちづくり部会	22 まちづくり	A 市街地整備	(6) 大麻中央公園、湯川公園などを再整備による街中自然の保全・充実	② 街の中ばかりではなく、農村地区でも公共施設や学校などが基点として必要
			(7) 人口が減少する中で、市街地を広げる新興住宅地の開発については検討が必要	
		B 大学連携	(5) 学生が地域と一緒に活動している事例を市民と学生の両方に情報提供	
		D 景観	(1) 一戸当たりの宅地面積が広いことを活用した住宅街の景観整備	
	23 中心市街地	B JR駅周辺	(11) 駅周辺の整備はコミュニティスペースとしての機能や商業・福祉の機能も含めて総合的・複合的に行うべき	⑧ 大麻駅の自転車置き場が乱雑なので整理が必要
			(12) 駅周辺に高齢者が住む施設や住宅を整備	⑨ 顔づくり事業の一環で学生が参加できるプロジェクトを企画
			(13) JR駅周辺に歩行者にやさしい歩行スペースの確保	
			(14) 区画整理にあわせて野幌駅周辺の商業スペース・飲食店を集積	
	24 道路	B 生活道路	(5) 大学生の多い大麻地区をモデル地区として自転車対策を先駆けて実施	
			(6) 自転車が走ってよい歩道なのかどうか分かる看板の整備	
			(7) 歩行者と自転車の通行を分離した道路の整備	
		C サイクリングロード	(3) 原始林周囲や鉄道林に散策路やサイクリングロードを整備	
	25 公共交通	C バス	(6) 特養や老健のデイサービス用バスを活用した買い物支援の巡回バスの運行	
			(7) バス路線のあり方を考えるきっかけとしてスタンプラリーを実施	
			(8) スクールバスを一般混乗できる(一般市民も乗れる)ようにし、病院の通院に活用	
(9) 民間バス事業者による、病院をまわる医療専門バスの運行				
(10) 実際にバスに乗って乗車地から目的地へスムーズに行けるか市で調査すべき				

## 部会における新規意見及び各界各層との意見交換における新規意見一覧

部会名	ジャンル		市民会議	各界各層意見	
	区分	項目			
地域産業部会	26	企業誘致 B 起業	(1) 大麻・文京台地区の大学の近くにある空家などを活用したベンチャービジネス		
	27	雇用 A 若者雇用	(3) 若者の雇用を創出できる大型の農業生産法人	⑤	職業科の学校を建設し、卒業後も市内で仕事ができるような施設をつくる
		B 高齢者雇用	(2) 高齢者のコミュニティビジネスの取り組みによる生きがいづくり		
	28	食ブランド A ブランドづくり	(6) 北海道フードコンプレックス国際戦略総合特区の活用	①	食産業を江別の柱とし、フードコンプレックス関連で企業誘致と地域農業との連携をとることが必要
				②	打ち上げ花火の形を使って特産品をPR
				③	作付面積・収穫量が北海道1位であるブロッコリーを加工して付加価値化
	29	農業 B ブランド化		③	江別産の農産物を道外へ売り込む戦略が必要
				④	産官学連携により、農産物から医療・医薬・サプリメント等を開発し、東南アジア方面へ展開
		C 地産地消		③	江別市の食料自給率を算出して農業等のPR
				④	給食で使う江別産食材を増やし、お昼の校内放送で食材を紹介
		E 貸し農園		①	市民が家庭菜園などの憩いの場として自由に使える農地を長期間貸し出すシステムを構築
		F 大学連携	(1) 農場で繁忙期に働くことで単位を取れるような、農業と大学の連携		
G 基盤強化			①	農業者の所得水準、農業の魅力向上のための土地改良などの農業基盤の強化	
H 支援		①	農協や個人が新たな取り組みをはじめ際の市の相談窓口の設置		
30	商店街 A ー	(5) 商店街の活性化には駐車場の整備が重要			
	B 大学連携		①	音楽による商店街への集客・にぎわいの創出(野幌商店街と大学生の連携)	

## 部会における新規意見及び各界各層との意見交換における新規意見一覧

部会名	ジャンル		市民会議	各界各層意見
	区分	項目		
地域産業部会	31 観光	A 観光振興	(9) 市民が地元のことを知り当事者意識を高めるための市民目線の観光が必要	
		B 観光資源	(23) 市内の中小企業をまわる工場見学ツアーの実施	⑨ 江別のやきもの(どんぶりづくり)と小麦(収穫⇒製粉⇒製麺⇒ラーメン)を結び付けて観光資源化
	32 物流	A -	(1) 江別市民の消費機能を守っていくための地元の事業者によるネットワークづくりや物流構築への支援	
			(2) きめ細かくて身近なサービスを提供できる地元の事業者によるバーチャルな物流ネットワークの構築	
			(3) 高齢者の買い物対策として市内に物流網を構築して商品を届ける仕組みが必要	
	33 情報発信	A -	(1) 市内の既存の企業・お店の情報を市民に知ってもらうための取り組みの支援	
			(2) 消費に関して市民の目を市外から江別市内に向ける仕組みづくりが必要	
			(3) 観光振興のためにバラバラに発信されている色々なところの情報をつなぐ必要がある	